

日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌オンライン投稿規定

下記内容はオンライン投稿に対応した投稿規定です。郵送による投稿については通常の投稿規定を参照ください。

日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌は、本領域に貢献する未発表の投稿論文および学術集会記録、学会告示等を掲載する。

1. 投稿者の資格ならびに条件

- 1) 投稿者は、共著者を含めて日本創傷・オストミー・失禁管理学会の会員であること。ただし、編集委員会が認めた場合は原稿の著者は本学会会員に限定しない。
- 2) 論文は他紙に未発表のもので、かつ著作権を侵害しないものに限る。

2. 論文の採否、修正

- 1) 投稿論文の採否は編集委員会の審査によって決定する。
- 2) 審査は査読制によって行い、査読の結果、編集方針に従って原稿の加筆修正などを依頼することもある。校正にあたり初校は著者が、2校以後は著者校正に基づいて編集委員会が行う。
- 3) 期限内に修正論文の投稿がない場合は不採用とする。
- 4) 論文の著作権は本研究会に帰属するものとする。
- 5) 依頼原稿はその限りでない。

3. 論文の種類

論文の種類は、総説、原著、短報、報告、症例報告、その他であり、それぞれの内容は以下のとおりである。

- (1) 総説：特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。
- (2) 原著：独創性に富む論文で、明確かつ新しい知見を認める論文。
- (3) 短報：研究結果の意義が高く、すぐに知らせる価値のあるもの、または萌芽的研究論文
- (4) 症例報告：症例や管理・ケア・治療方法に関する内容で、編集委員会が掲載に値すると評価した論文。
- (5) 報告：アンケート調査等の委員会報告で、編集委員会が掲載に値すると評価した論文。
- (6) その他（解説、学会賞講演抄録など）

4. 論文採用後に提出が必要な書類

論文掲載決定後に行う著者校正の際に、下記内容の【誓約書ならびに同意書】に署名のうえ、校正と共に返送すること。

- (1) 原著の内容が未発表であること（英文誌を含めて他誌への重複投稿をしていないこと）。
- (2) 掲載された原稿の著作権は日本・創傷・オストミー・失禁管理学会に帰属すること（無断で他誌へ図表を転用しないこと）。
- (3) 著者および共著者の全員が日本創傷・オストミー・失禁管理学会の会員であること。
- (4) 著者ならびに共著者の同意書（要署名）
- (5) 図表などの他誌からの引用に関しては、必ず出版社または著者本人からの引用承諾書を提出すること（自著、他著に関わらず提出する必要がある）。

5. 倫理規定

- 1) 人体を対象とした研究及び調査研究などでは、所属施設の倫理委員会またはこれに準じるものの承認が必要である。
- 2) 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省及び経済産業省）（平成13年3月29日）による規定を遵守する。

6. 論文の形式

- 1) 本文および図表のデータには、著者を特定できないよう、著者情報（氏名、イニシャル、所属先名など）が入らないように処理をすること（プロパティの著者情報の削除や、変更履歴の非表示など）。また、タイトル・キーワードにも、所属機関名などの著者情報が入らないようにする。

例 論文タイトル「東京オストミー病院3年間の創傷管理体制」の場合は、「当院3年間の創傷管理体制」にする。

- 2) 本文はMicrosoft Wordで作成する。邦文原稿は所定様式として24字×30行でA4サイズの内紙に周囲2.5cmの余白を残す。欧文原稿はダブルスペースでA4サイズの内紙に周囲2.5cmの余白を残し、言語綴は行末で切れないようにその言葉の頭で改行する。

- 3) 原稿の表紙には、表題、著者名、所属、キーワード（5個以内）の順に和文、英文で明記する。英文キーワードはすべて小文字とする。表紙を1頁として本文にページ番号を入れる。
- 4) 欧文原稿には、邦語の表題、著者名、所属をつける。
- 5) 著者の所属の表記は、筆頭者单独の場合無記号、共著者の所属が異なる場合は、筆頭者を1)とし、共同著者名の右肩およびその所属名の右肩に2) 3)と番号をつける。
- 6) 原著には欧文（250語以内）および邦文（600字以内）の要旨をつける。
- 7) 邦文原稿は原則として常用漢字、ひらがな、現代かなづかいを用い、外国語固有名詞（人名など）は原語を、一般に日本語化された外国語はカタカナを用いる。欧文原稿は当該言語を母語とする者が読んで、正確、明確に理解できるものでなければならない。
- 8) 度量衡は国際単位など汎用されているものを使用する。
- 9) 論文中に固有の機器、医薬品、創傷被覆材の名称を記載する場合は、本文中の初出時のみ一般名（商品名：企業名 ※正式名称を記載）と記載し、以降は一般名で記載する。なお、論文タイトル、要旨、キーワードには商品名は使用しない。
- 10) 論文の項目の区分は原則として下記の例に従う。
 - ・大項目－無記号で上を一行開け、行の第2字目に記す。
はじめに、対象、方法、結果、考察、まとめ、文献などが相当する。
 - ・小項目－1, 2, として上下を開けずに行の第2字目に記す。
続いて1), 2)として行の第2字目に記す。
- 11) 図および表にはそれぞれに通し番号をつける。
- 12) 図表のタイトル、説明は日本語、外国語のいずれかに統一する。
- 13) 図表は2ファイルまで投稿可能。図のデータはJPEG, TIFF, EPS形式とする。また挿入場所は本文欄外に記載する。
- 14) 写真を掲載する場合はプライバシーを十分に尊重する。
- 15) 謝辞がある場合は本文の末尾に入れる。
- 16) 文献は引用順に配列し、本文の末尾に一括記載する。本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に1), 1) 3) 6), 1)－5)のように記す。参考文献は記載しない。
- 17) 著者が3名以上の場合は、はじめの3名までを書き、あとは「他」または「et al.」を付け加える。
- 18) 文献の記載様式は下記の要領に従う。

・雑誌の場合

著者名, 論文の表題, 略雑誌名 卷: 初頁-終頁, 発行西暦年号.

- 例 1) 山本亜矢, 鈴木愛美, 赤池こずえ. ストーマ装具費用がオストメイトのQOLに及ぼす影響. 日WOCN会誌 5: 12-16, 2002.
- 2) Langemo DK, Melland H, Hanson D, et al. The lived experience of having a pressure ulcer: a qualitative analysis. Adv Skin Wound Care 13: 225-235, 2000.

・単行本、分担執筆の場合

著者名, 題名, 書名, (編集者), 頁, 出版社, 発行地, 発行年.

- 例 1) 真田弘美. 褥瘡の予防. 褥瘡の予防・治療ガイドライン (厚生省老人保健福祉局老人保健課 監修, 宮地良樹 編), 8-36, 照林社, 東京, 1998.
- 2) Harding CR. Effect of moisturizing factor and lactic acid isomers on skin function. Dry Skin and Moisturizers: Chemistry and Function, In: Loden M eds, 229-241, CRC Press, New York, 2000.

・訳本の場合

著者名, 訳者名, 書名, 頁, 出版社, 発行地, 発行年.

- 例 1) Altman PL, 久保田競, 中村嘉男訳. 生命科学論文のまとめ方のコツ. 62-83, 協同医書出版社, 1986.

・WEBの場合

web siteの発信元. (西暦, 月). 記事が載っている大題名: 記事名. 検索日, 年, URL

- 例 U.S. Department of Health and Human Services. (2000, November). Healthy people 2010: Understanding and improving health. Retrieved September 26, 2001, from <http://www.health.gov/healthypeople/>

19) 利益相反に関する記載例

本研究は〇〇の資金提供を受けた。

〇〇の検討にあたっては、〇〇からの測定装置の提供を受けた。

7. 論文の長さ

投稿論文の1編は本文、文献、図表を含めて下記の範囲内とする。

総説	16,000 字以内
原著	12,000 字以内
短報	10,000 字以内
症例報告	4,000 字以内
報告	8,000 字以内
その他	4,000 字以内

不明な点は下記事務局まで問い合わせのこと。

日本創傷・オストミー・失禁管理学会事務局 (E-mail etwoc@shunkosha.com)

付則

この規定は、平成 21 年 11 月 6 日から施行する。